

中学校 第1学年 数学科学習指導案

(内容) 第1学年 図形 平面図形「基本の作図」(5/8時間)

(目標) 図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を理解し、表現できる。

過程	学習活動	指導上の留意点	機器等の活用場面
導入 5分	1. 既習事項を確認する。 2. 本時の課題を把握する。	・対称移動の性質、二つの円の性質を想起するよう促すことで課題の解決に必要な情報を明確にする。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題</p> <p>点Pの場所から直線lの道へ最短で行きたい。 どのように進めばよいか。</p> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;"> $\bullet P$ l ————— </div> </div>		
	3. 本時のめあてを立てる。		
<p>めあて</p> <p>点Pから直線lに対して垂線を引くの作図の方法を考えよう。</p>			
	4. 作図の方法を予想する。	・つまずく生徒については、既習の円の性質を基に課題の解決へ向かうよう促し、見通しをもつことができるようにする。	
展開 35分	5. 予想した作図の方法を発表し、動画により確認する。	・発表者に対して、一つ一つの作業の意図等を問いながら進めることで、生徒が円の性質と関連付けながら思考し理解できるようにする。 ・動画を確認しながら作図を実際に行わせ、技能の習得が確実に図られるようにする。	Google ドライブ [個に応じる学習]
		・別の方法を紹介するが、つまずきが想定される部分については、作図の根拠を見い出すよう促すことで確実な理解を図る。 ・動画を確認しながら作図を実際に行わせ、技能の習得が確実に図られるようにする。	Google ドライブ [個に応じる学習]
<p>まとめ</p> <p>二つの円の交点の性質を利用することで、直線lに垂線を引くことができる。</p>			
終末 5分	7. 評価問題に取り組む。	・作図方法の根拠を利用し、解決に至るような評価問題に取り組みせ、知識理解や技能の定着を図る。	

※なお、家庭学習で作図の復習を行う場合は各自の端末から Google ドライブ を使って確認できる。